

築堤の完成に伴う治水効果の発現【輪中堤:新宮川水系相野谷川(三重県)】

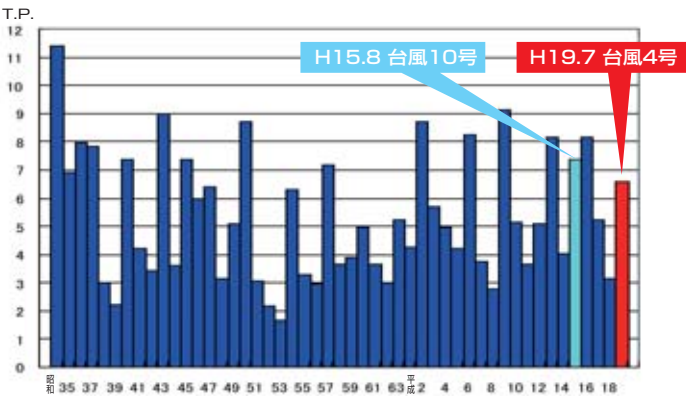
新宮川水系相野谷川では、平成13年度から水防災事業を実施しており、平成18年度には3地区の輪中堤が完成しました。平成19年7月の台風4号による出水では、完成した輪中堤の効果により**153戸の家屋の浸水被害が回避されました。**

台風4号により相野谷川では高岡地点でピーク水位が6.54mと計画高水位(4.566m)を上回る出水を記録しました。



気象・降雨状況

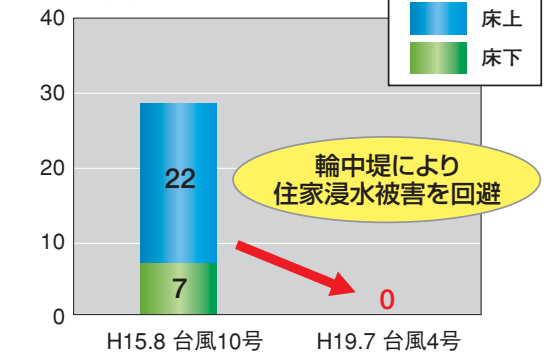
● 鮎田水門地点年最高外水位の比較



鮎田水門地点年最高外水位 (T.P.+m)

実測値は、S34~37、40、43、50、57、60、H1、4、6、8~19年で、それ以外は相賀観測所流量からの推定値

浸水戸数(戸)



輪中堤により
住家浸水被害を回避

高岡地区状況

輪中堤完成前(高岡地区)



輪中堤完成後



平成19年7月台風4号

